

◆建設局運営方針の概要

- だれもが住み・働き・訪れたい魅力ある都市空間を創出する取組み。
- 新たな緑を創出するとともに全ての緑を良好に保全・活用していくことで、
うるおいのある良好な都市環境の形成を図る。
- 南海トラフ巨大地震を踏まえた対策や密集市街地における道路整備、近年多発している集中豪雨への対応を強化するための地域特性にあった局地的浸水対策など、震災・風水害に備えた都市基盤施設の機能拡充や安全・安心な市民生活を実現する。

◆大阪市の全体計画における公園整備事業の位置付け

新・大阪市緑の基本計画

基本方針(だれもが住みたい・働きたい・訪れたいと思う“みどりの基盤”を構築する)において、「災害に強い都市空間の創出」、「人と自然が共生する都市環境の創出」、に位置付けられている。

大阪市地域防災計画

地域防災アクションプランにおける、「避難施設の確保及び防災空間の整備」に、避難場所となる都市公園の整備が位置付けられている。

事業箇所図



事業費の推移①

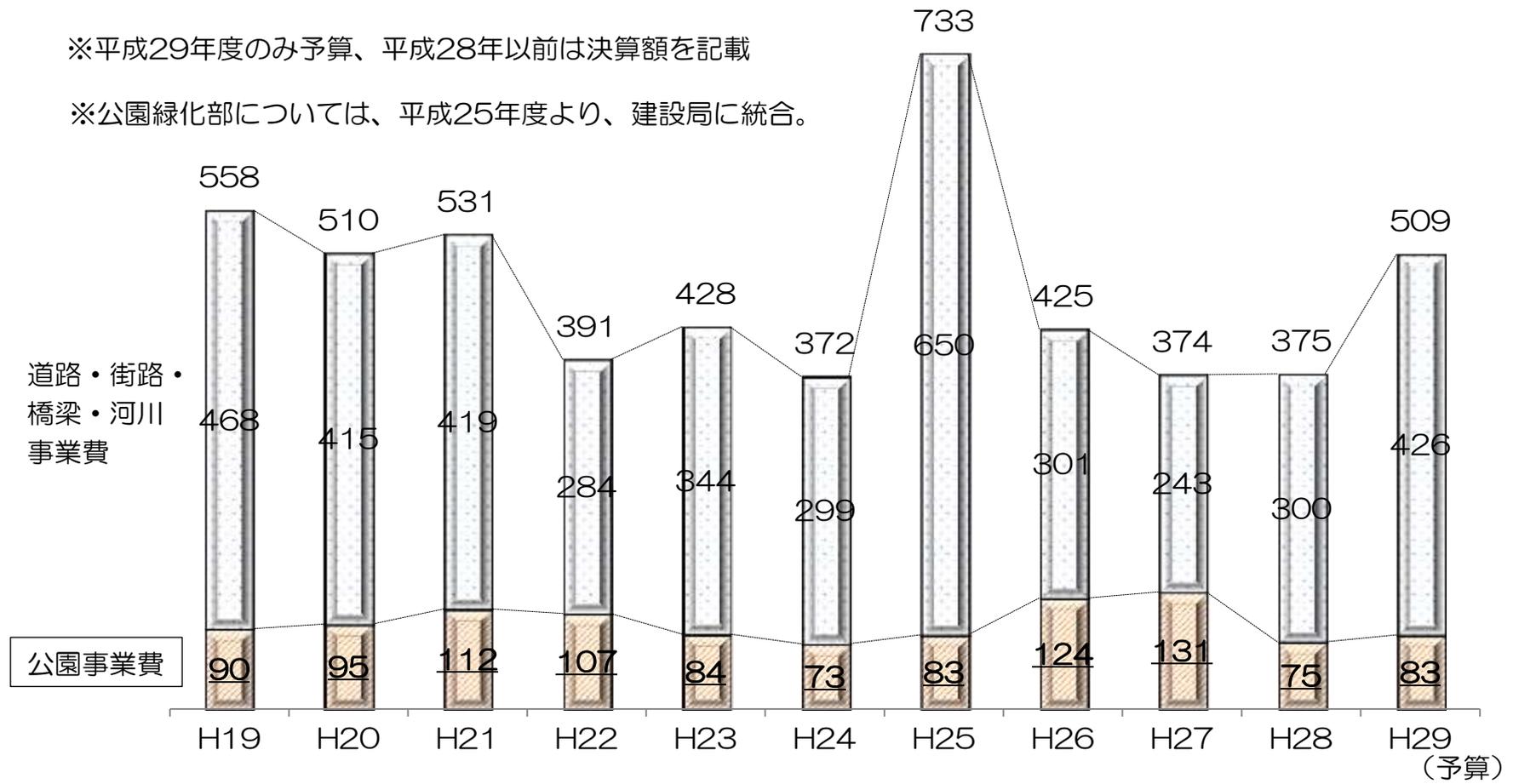
市の財政状況が厳しくなる中、公園事業費は平成29年度予算は83億であり、平成19年度決算と比較すると約92%となっている。

平成26・27年度の決算が増加しているのは、用地費の繰り戻しを促進したことによる増加となっている。

建設局事業費（公園）の推移（億円）

※平成29年度のみ予算、平成28年以前は決算額を記載

※公園緑化部については、平成25年度より、建設局に統合。



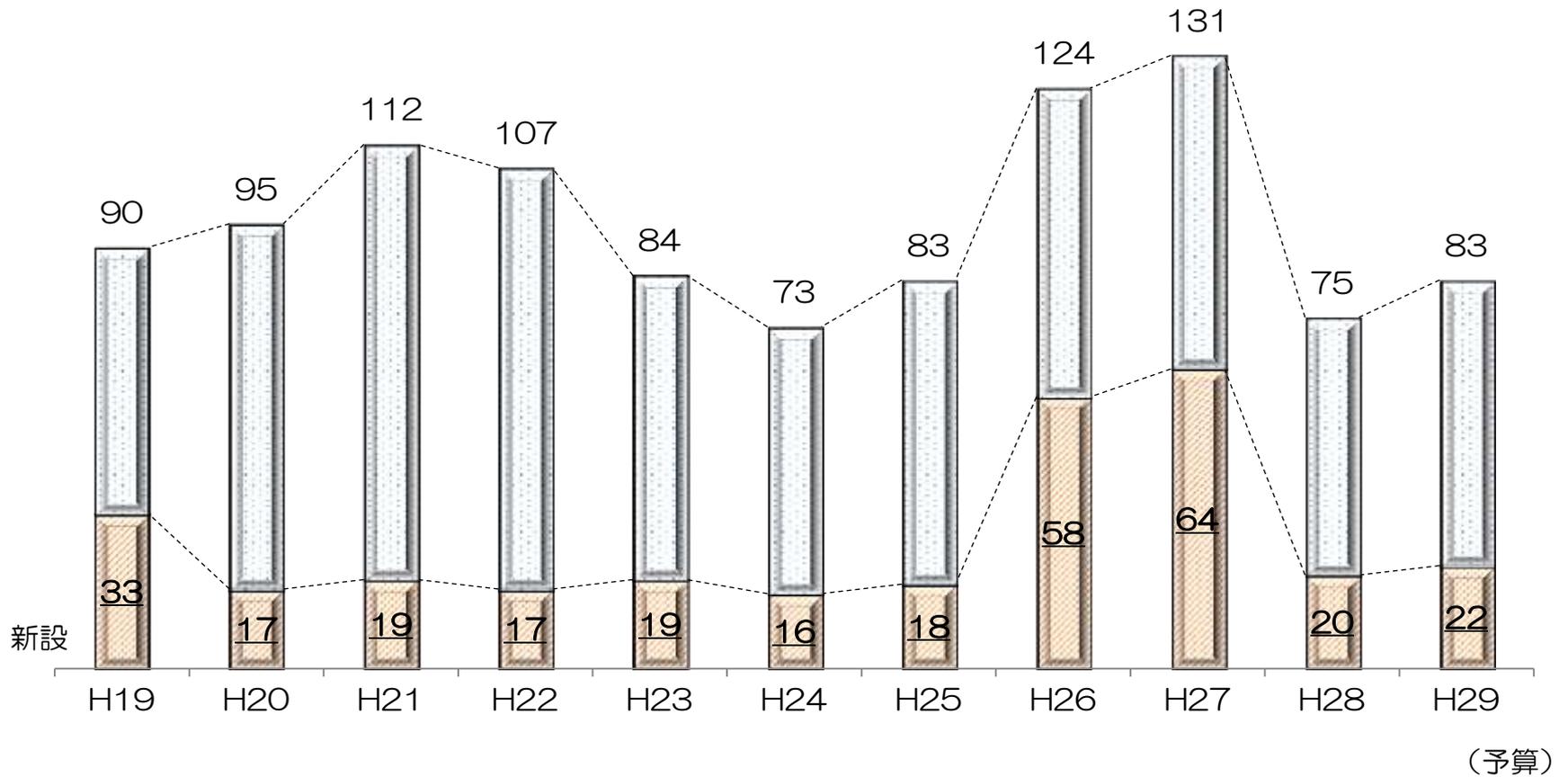
事業費の推移②

市の財政状況が厳しい中、新設公園関連事業費も平成20年度に大幅に削減して以降、ほぼ横ばいの状態となっている。

公園事業費（新設）の推移（億円）

※平成29年度のみ予算、平成28年以前は決算額を記載

※平成26・27年度の決算額が増加しているのは、
用地費の繰戻しを促進したことによる。



選択と集中の考え方等

局運営方針に照らした事業の位置付け

【局運営方針（H29年度）】

- ・大阪市では、道路、公園など膨大な量の都市基盤施設を管理しており、かつ、古くから都市化が進んだため、都市基盤施設の高齢化が進んでいる。これらの都市基盤施設は安全・安心な市民生活や都市活動を支える基盤であるため、計画的な管理を行い、その機能を着実に維持していく。
- ・南海トラフ巨大地震を踏まえた対策など、震災・風水害に備えた都市基盤施設の機能拡充により安全・安心な市民生活を実現する。

新設公園関連事業については、平成9年度予算額が約329億円であったのに対し、平成29年度、22億円と大幅に激減している。

本市の財政状況が非常に厳しい状況ではあるが、今後も事業費の確保に努めていく。

事業の選択と集中の考え方

- ・既に事業認可を取得するなど、事業着手している公園について優先的に実施。
- ・関連事業の事業計画があるものや、既に公園用地として取得済みで、未整備である公園については、早期開設に向け優先的に実施する。

以上2点を踏まえ、限られた財源の中で調整し実施し、公園事業の推進を図る。

